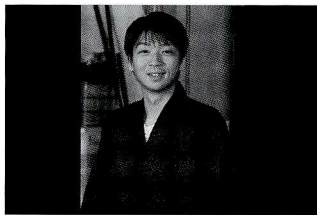




狂言「鶏婿」より。騙されて婿入りの作法として鶏の真似をすることになる。正直な男の役。ダイナミックな鶏のモノマネが見物。多様な役柄の中でも、「山伏や神主の役が得意」なのは「勤王悪徳で気持ちいいから」



ロケ前には本物の男衆さんが働く現場へ見学にも行き、「時間の制限さえなければ、だらり帯も実際に締められますよ」とのこと。ロケ現場は常に女の奥ゆえ、「僕がここにいていいのかな??」とドギマギすることも



Tシャツ+ジーンズ姿でも「シャツ」枚羽織ればマシになるからと白シャツだけでも10枚ほど所有。なんでも、「普段から、いつでも楽屋に行ける格好してる」のがポリシーなんだとか。朝ドラ「だんだん」の台本とともに

狂言師

# 茂山逸平

SHIGEYAMA IPPEI

# 京KYOTIAN I.D.

京のおきばりさん

取材・文/山田涼子 撮影/石川奈都子

【プロフィール】 1979年6月12日生まれ。二世茂山七五三氏の次男。父および祖父四世茂山千作、曾祖父三世茂山千作に師事。'83年「業平餅」の童で初舞台。'94年結成の「花形狂言少年隊」や、'00年より主催する「TOPPA!」で活躍する一方、映画やドラマにも多数出演。'08年9月29日から放送のNHK連続テレビ小説「だんだん」では男衆役に挑戦中。

## 「やってて楽しい」狂言が「好きなもの」で、最大の誇り

弊誌にて人気コラムを連載する「もつびー」こと茂山宗彦さん（左頁参照）が、「有名人の誕生日サイトにイッペーの名前だけって！」と地団駄踏んだ「賢弟」こと茂山逸平さん。現在放映中のNHK連続ドラマ小説「だんだん」出演を引っかけての「登場である」。

今回の朝ドラでは、若手ながら着付けの早さと腕に定評のある男衆・奥村雄三役で、花街に舞妓として暮らす主人公・夢花のよき相談手を演じている。独自のルールを有する花街が舞台だからこそ、撮影前から陰ながら手伝いを引き受けていた。朝ドラ「京、ふたり」「オードリー」や、宗彦さんと共演した「終のすみか」、時代劇「柳生十兵衛七番勝負」のゲストなど、NHKとは因縁浅からぬ仲。それゆえ、主人公だけでなく、番組スタッフのよき相談相手でもあった。そこでオーディションに誘われ、「見合いとオーディションはしたことなかったから、面白そうだと思って（笑）」軽い気持ちで参加し、男衆役を射止めてしまった。「ヒロインの相手役って可能性ありましたよね」と残念がって見せたり。しかし、それはあくまでもポーズ。男衆役なら月1回程度のロケで済むが、ヒロインの相手役となるとそうもいかない。狂言を何より優先したい彼にとって、いいペースでのドラマ収録は、狂言に対して良い効果を生むらしい。

「狂言が好き。間髪入れず、てらいなく、答えには迷いが無い。茂山家に生まれたことを、「狂言をするならいい

し、しないなら悪い」と端的に評し、自身は狂言師であることに確固たる誇りを持つ。「同じ年の人たちの中で5本の指に入るでしょ、確実に！ だって昭和54年生まれはそんなにないから（笑）」と胸を張るのは、狂言師の人口いかなり、自負があるから。

また、'06年秋から1年間のフランス留学では、狂言師たる肩書きを持って臨んだ。だが、日本にいるのとは違って「無理矢理に狂言をしなくてもいい。でも狂言ができる機会にも恵まれて、狂言を客観的に見ることでできたことでも、もっと狂言を好きになつたと言いつける。4歳で初舞台を踏んできた今まで、狂言を辞めたいと思つたことはない。いや、たつた一度だけ、高校3年の学園祭に狂言のため参加できなかったときは、「さすがに辞めたいと思いましたがね。大事でしょ、高校最後の学園祭って」。

長年研鑽を重ねて、海外にも飛び出している、改めて狂言について考えれば考えるほど、「これほど無駄のないキレイなものには世界中どこにもない」と思う。そして、「ライブ感が何より大事」だと言ふ。そんな彼の今後の展望は、「関西芸人祭。能楽師でもパレリーナでも漫才師でも、ライブであれば誰でもOK。役者×観客だけでなく、役者×役者の世界を広げような、交流の場をつくりたい。「ライブ」に魅せられた彼が、今後はどんな舞台を見せられるのか、期待はますます膨らむばかり。

**information**

NHK連続ドラマ小説「だんだん」  
総合テレビ/毎週月～土 8:15～8:30  
デジタル衛星ハイビジョン/毎週月～土 7:30～7:45  
衛星第2/毎週月～土 7:45～8:00  
<http://www3.nhk.or.jp/asadora/dandand/>

【HANAGATA】  
12月23日 於：先斗町歌舞練場  
14:00～/19:00～  
A席4000円 B席3000円 学生2000円

公式ブログ「和日日和」  
<http://ameblo.jp/ippeishigeYama/>